

2017 絆・ぬくもり がんばろう調布セール (市内消費喚起事業)

実施報告書

調布市商工会

1. 事業趣旨 今年度も、昨年(平成28年)度実施した、スクラッチカードを利用しての消費喚起事業を調布市からの補助金により、引き続き、平成29年歳末に向けて実施し、市内全域での消費活性化、市内における回遊性向上、市内商工業者の販売促進の一助とすることを目的とする事業
2. 事業名称 「2017絆・ぬくもり がんばろう調布セール」
3. 実行機関 調布市商工会(商業部会主管)
4. 参加資格 調布市内で販売・サービスを行っている事業所
5. 事業概要

①スクラッチカード

- 実施期間 平成29年12月1日(金)～12月31日(日)(配布・当り券利用)
- 参加費 無料 ※追加は、希望店負担で1セット(100枚)2,500円で販売
- 発行枚数 40万枚
- 当選金総額 1,200万円(100円×12万枚)
- 当選確率 30%【100枚中30枚(100円券)】 ※70枚はチャンス券
- 参加店舗への配布条件 1店舗当たり、一律3セット(300枚)
- スクラッチ 原則、参加店舗・事業所で500円以上の商品購入、飲食、サービスの提供で、スクラッチカードを1枚配布。1回につき配布は最大5枚まで
- スクラッチ ①削ると「100円」・「チャンス」券の2種類
- スクラッチ ②「100円」券は、同額の金券として即日から利用可
- スクラッチ ③昨年同様、参加店の任意で「チャンス」券活用の独自サービス実施
- スクラッチ ④「チャンス」券10枚1口による抽選。(参加店のみを対象とした商品券が当たる)
- 換金場所 ①市内の定められた取扱金融機関 12金融機関17支店
- 換金場所 さわやか信用金庫多摩川支店 さわやか信用金庫調布支店
- 換金場所 芝信用金庫仙川支店 昭和信用金庫多摩川支店
- 換金場所 昭和信用金庫つつじが丘支店 西武信用金庫柴崎駅前支店
- 換金場所 多摩信用金庫調布支店 多摩信用金庫調布北口支店
- 換金場所 東京三協信用金庫調布支店 (株)東京都民銀行神代出張所
- 換金場所 (株)みずほ銀行調布支店 (株)みずほ銀行調布仙川支店
- 換金場所 (株)三井住友銀行国領支店 (株)三井住友銀行調布駅前支店
- 換金場所 (株)三菱東京UFJ銀行調布支店 (株)八千代銀行調布支店
- 換金場所 (株)山梨中央銀行調布支店
- 平成29年12月11日(月)～平成30年1月16日(火)
- ②調布市商工会
- 平成29年12月4日(月)～平成30年1月31日(水)
- 参加店舗数 **998店**(会員875店、非会員123店)
- 参加店舗数 内、大型店扱いは以下4店(パルコ調布店、トリエ京王調布店、啓文堂書店(仙川店・つつじヶ丘店)

発行総枚数

	2017年度	2016年度
発行総枚数 (1店舗、原則300枚、 100・200枚の店舗あり)	311,200枚 ※	327,200枚
内追加販売 (1セット@2,500円)	17,000枚 (425,000円)	41,900枚 (1,047,500円)

※大型店はパルコ 45,000枚(専門店舗)、トリエ京王調布 22,200(専門店舗)、啓文堂各 300枚

換金総額

	2017年度	2016年度
換金総額	5,765,200円 ※	6,192,200円
金融機関	1,881,500円 (32.6%)	2,197,300円 (35.5%)
調布市商工会 (内大型店)	3,883,700円 (67.4%) 1,438,800円 (25.0%)	3,989,600円 (64.5%) 1,348,500円 (21.8%)

※発行数 311,200 の 30%⇒9,336,000円=100%

換金率

	2017年度	2016年度
換金率	61.8%	63.1%
金融機関	20.2%	22.5%
調布市商工会 (内大型店)	41.6% (15.4%)	40.6% (13.7%)

② Wチャンス (商品券—チャンス券活用)

内容	スクラッチカードの補完事業
応募方法	「チャンス」券 10枚 1口と必要事項等を同封、商工会へ郵送、持参
応募期間	平成 29 年 12 月 1 日 (金) ~平成 30 年 1 月 12 日 (金) 消印有効
利用店舗	340 店 (2016 年 : 323 店) 自店オリジナルサービス実施店舗のみ
応募総数	1,447 口/739 名 (2016 年 : 1,327 口/646 名)
当選賞品	500 円の商品券 (つり銭なし)
当選本数	600 本 1 等 10,000 円—10 本、2 等 5,000 円—40 本、 3 等 3,000 円—100 本、4 等 2,000 円—450 本
当選総額	1,500,000 円 当初予算 (800,000 円) を換金率等により増額
当選者連絡	当選者へ平成 30 年 2 月 1 日 (木) 利用店舗一覧と商品券を郵送
利用期限	商品券到着後から平成 30 年 2 月 28 日 (水)
精算と支払	平成 30 年 2 月 7 日 (水) ~3 月 9 日 (金) 商工会へ持参で換金
換金総額	1,417,500 円 (2016 年 : 2,075,000 円)
換金率	94.5% (2016 年 : 91.0%)

③ 商店会によるチャンス券活用のコラボ事業

12月実施の各商店会イベントにおける「チャンス」券活用

- ① つつじヶ丘商店会 「2017歳末福引感謝セール抽選会」
12月9日(土)・10日(日)
- ② 上布田商栄会 謎解きゲーム「上布田商栄会と古の音録絵札」と歳末福引大会
12月16日(土)
- ③ 仙川商店街協同組合 「歳末大売出しゴーゴーセール」
12月22日(金)～24日(日)
- ④ 西調布振興会 「2017歳末福引大会」
12月24日(日)

6. チャンス券活用

市内の消費喚起を促すため、当たり券の取り込みだけでなく、事業参加店で、チャンス券を活用してお客様にサービス還元することにより、歳末の繁盛期に更なる来店を促し、お客様とのコミュニケーションを促す契機になることを目的に前回に続き実施。

参加店に対し、チャンス券活用について申込勧奨・直前に再度改めての周知も行い、事前申込をいただいた参加店はサービス内容について商工会ホームページで紹介・掲載を行った。

最終的には、340店（前年比17件増）が参加された。

さらに、この活用に参加した店舗は、12月実施のスクラッチカードの他に、30年2月のWチャンス商品券利用店舗となり、第2弾の消費喚起事業への参加店となった。

参加店のサービス内容については以下のとおり。

- ① 割引・キャッシュバック（130店）
- ② プレゼント（173店）
- ③ サービス（37店）

7. お子さま連れサービス

市内消費喚起の担い手として、20代～40代のお子さま連れの主婦層に焦点を当て、お子さま連れサービスを行っている参加店を募集。

参加店に対し、お子さま連れサービスについて申込勧奨等で周知を行い、111店（前年比13件減）が参加された。

●参加店業種別内訳

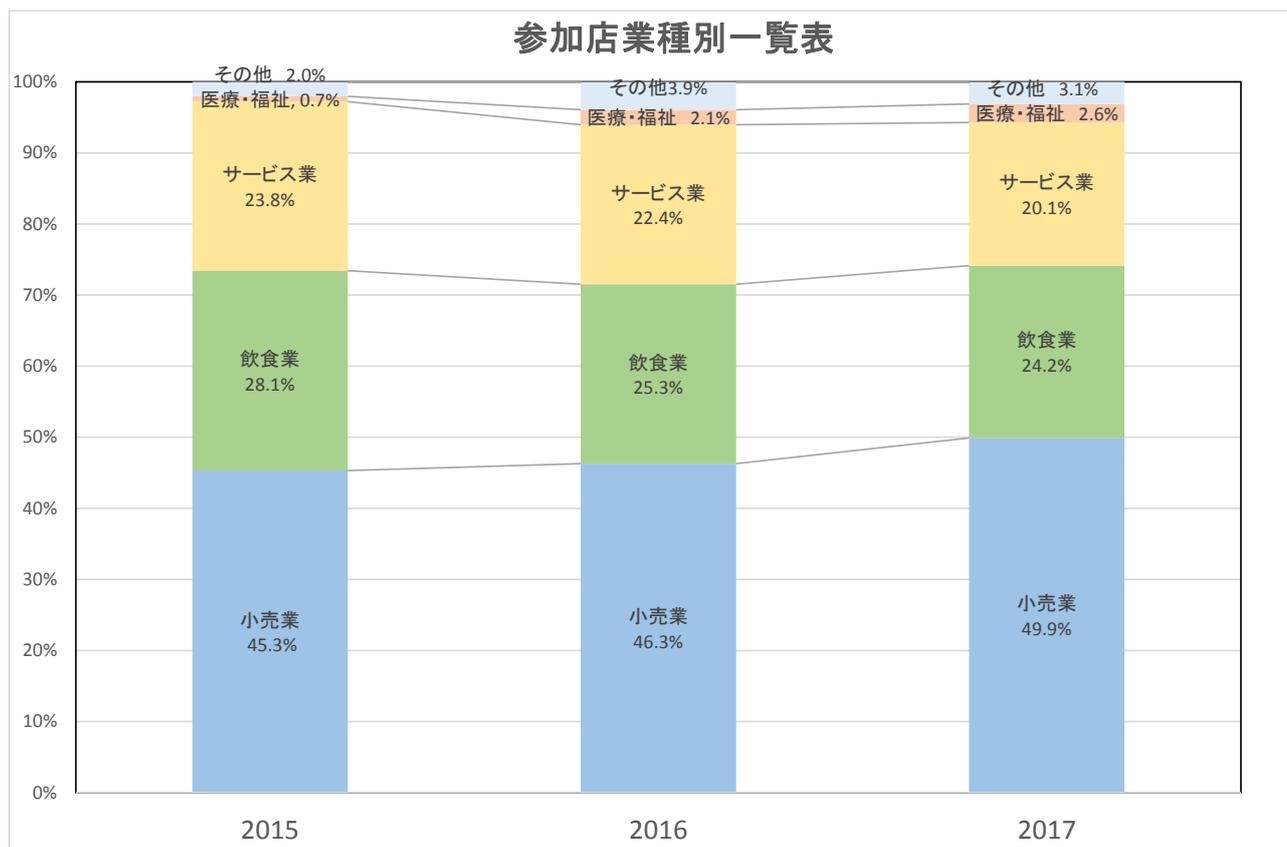
	2017年	対比増減	2016年	2015年
大型店	4店 ※ (4店舗全て小売業)	▲1店	5店 (5店舗全て小売業)	9店 (9店舗全て小売業)
一般店	994店	5店	989店	1,068
小売業 ※※	496店	36店	460店	488店
飲食業	241店	▲10店	251店	303店
サービス業 (含 整体院・整骨院)	200店	▲23店	223店	256店
医療・福祉	26店	5店	21店	8店
製造業 (含 印刷業)	3店	▲1店	4店	5店
建設業	11店	▲4店	15店	11店
不動産業	17店	▲3店	20店	5店
合計	998店	4店	994店	1,077店

※調布パルコ店・トリエ京王調布・啓文堂書店(仙川店・つつじヶ丘店)

※※小売業には調布パルコ内テナント(149店舗)及びトリエ京王調布内テナント(73店舗)を含む

参加店は昨年に比べ4店舗増加した。トリエ京王調布の出店影響もあり、小売業での参加店が36店舗増えた。一方、サービス業と飲食店での参加は減少傾向にある。

大型店は全体の23%を占める。2017年はトリエ京王調布の参加があったものの、2店舗(いなげや染地店、ライフつつじヶ丘店)減少した。業種比率を見ると、小売業は50%と参加店の約半分を占め、飲食業が24%、サービス業は20%と続く。この傾向は前回と同様である。



※その他: 製造業・建設業・不動産業

●参加店町丁別内訳

2017年・ぬくもり がんばろう調布セール 参加店町丁別一覧表

町	丁目	参加店数	2017年	2016年	対比	2015年	町	丁目	参加店数	2017年	2016年	対比	2015年
入間町	1	1	5	8	▲ 3	11	深大寺元町	1	6	25	29	▲ 4	29
	2	3						2					
	3	1						1					
上石原	1	25	51	64	▲ 13	50		4	1				
	2	21						5	15				
	3	5						仙川町	1				
菊野台	1	31	42	47	▲ 5	53	2		2				
	2	6					3		6				
	3	5					染地	1	0	11	14	▲ 3	15
国領町	1	20	98	105	▲ 7	112		2	4				
	2	8						多摩川	3				
	3	22					1		3	23	19	4	16
	4	20					2		2				
	5	16					3		2				
	6	1					4		3				
	7	4					5		11				
	8	7					6		1				
小島町 ※	1	178	220	218	2	263	7		1				
	2	33					調布ヶ丘	1	4				
	3	9						2	2				
佐須町	1	2	9	9	0	10		3	3				
	2	2					4	3					
	3	4					飛田給	1	5	13	13	0	20
	4	1						2	8				
	5	0						3	0				
柴崎	1	7	9	9	0	9	西町	1	0	0	0	0	0
	2	2											
下石原	1	10	18	21	▲ 3	13	西つつじヶ丘	1	8	82	82	0	79
	2	5						2	7				
	3	3						3	56				
深大寺北町	1	1	7	6	1	8		4	11				
	2	0					東つつじヶ丘	1	7	19	20	▲ 1	25
	3	0						2	8				
	4	0						3	4				
	5	2					富士見町	1	1	14	14	0	14
	6	4						2	3				
	7	0						3	8				
深大寺東町	1	1	11	12	▲ 1	22		布田 ※	4				
	2	1					1		87				
	3	2					2		32				
	4	0					3		13				
	5	1					4		82				
	6	5					5		6				
	7	0					6	3					
	8	1					緑ヶ丘	1	1	5	5	0	8
1	0	2	4										
深大寺南町	1	0	0	2	▲ 2	2	八雲台	1	5	7	7	0	8
	2	0						2	2				
	3	0					若葉町	1	1	18	22	▲ 4	19
	4	0						2	14				
	5	0						3	3				
世田谷区上祖師谷	5	1	1	1	0	1	合計		998	994	4	1,077	

※トリエ京王調布B・C館(10店舗):小島町2丁目、 A館・改札階(63店舗):布田4丁目

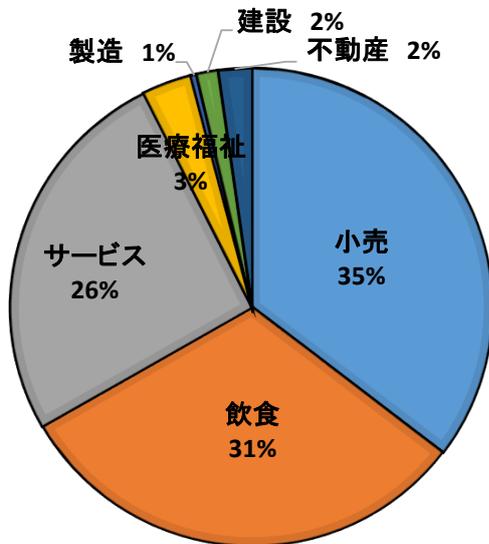
パルコ調布店を抱える小島町で22.0%、トリエ京王調布の開業に伴い布田で47店舗増の22.3%と調布駅周辺の2町で参加店全体の約4割を占める。中心市街地(小島町1・2丁目、布田1~4丁目、国領町1~5・8丁目)で50%、それ以外の地域で残り50%となっており、市内全体の店舗・事業所で参加したことが伺える。この傾向は過去3回と同様である。

業種別当選金利用結果(スクラッチ)

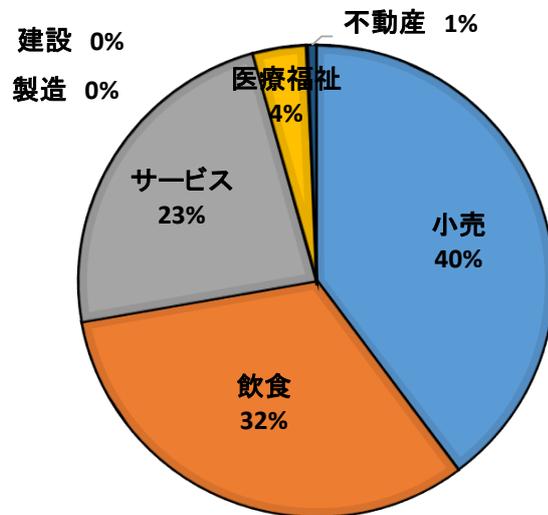
	参加店数	割合	換金店舗数	割合	100円券		割合
					枚数	金額	
総数	776		543		93,360	¥9,336,000	-
回収枚数					57,652	¥5,765,200	61.8%
大型店	4		4		14,388	¥1,438,800	25.0%
一般店※	772	100%	539	100%	43,264	¥4,326,400	75.0%
小売業※	273	35.4%	216	40.1%	22,922	¥2,292,200	39.8%
飲食業	242	31.3%	174	32.3%	11,174	¥1,117,400	19.4%
サービス業	200	25.9%	126	23.4%	7,379	¥737,900	12.8%
医療・福祉	26	3.4%	19	3.5%	1,342	¥134,200	2.3%
製造業	3	0.4%	1	0.2%	63	¥6,300	0.1%
建設業	11	1.4%	0	0.0%	0	¥0	0.0%
不動産業	17	2.2%	3	0.6%	384	¥38,400	0.7%

※ 調布パルコ及びびトリエ京王調布内の各テナントは含まず

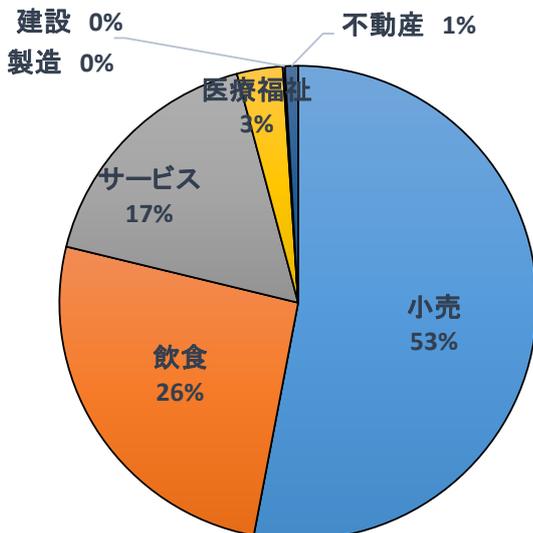
参加店割合(一般店)



換金店舗数割合(一般店)



換金額割合(一般店)



参加店舗数と換金店舗数はほぼ同一比率だが、換金額においては小売業が半数を占める。大型店を含めると、小売業の換金総額は6割を超える。

●スクラッチ換金一覧表

	換金店舗	枚数	金額	割合
商工会換金合計	299	38,837	3,883,700	67.4%
内大型店	4	14,388	1,438,800	25.0%
調布パルコ	1	9,209	920,900	16.0%
トリエ京王調布	1	4,700	470,000	8.2%
啓文堂 仙川店	1	244	24,400	0.4%
啓文堂 つつじヶ丘店	1	235	23,500	0.4%

金融機関換金合計	241	18,815	1,881,500	32.6%
さわやか信用金庫 多摩川支店	2	183	18,300	0.3%
さわやか信用金庫 調布支店	16	1,234	123,400	2.1%
芝信用金庫 仙川支店	35	2,388	238,800	4.1%
昭和信用金庫 多摩川支店	9	640	64,000	1.1%
昭和信用金庫 つつじヶ丘支店	29	2,464	246,400	4.3%
西武信用金庫 柴崎駅前支店	14	1,130	113,000	2.0%
多摩信用金庫 調布支店	24	2,344	234,400	4.1%
多摩信用金庫 調布北口支店	34	2,556	255,600	4.4%
東京三協信用金庫 調布支店	10	947	94,700	1.6%
東京都民銀行 神代出張所	5	353	35,300	0.6%
みずほ銀行 調布支店	9	618	61,800	1.1%
みずほ銀行 調布仙川支店	6	213	21,300	0.4%
三井住友銀行 国領支店	16	1,365	136,500	2.4%
三井住友銀行 調布駅前支店	2	349	34,900	0.6%
八千代銀行 調布支店	25	1,719	171,900	3.0%
山梨中央銀行 調布支店	3	143	14,300	0.2%
三菱東京UFJ銀行 調布支店	2	169	16,900	0.3%

全換金 合計	57,652	5,765,200	100.0%
---------------	---------------	------------------	---------------

換金率
 (発行数 311,200 の30%=9,336,000

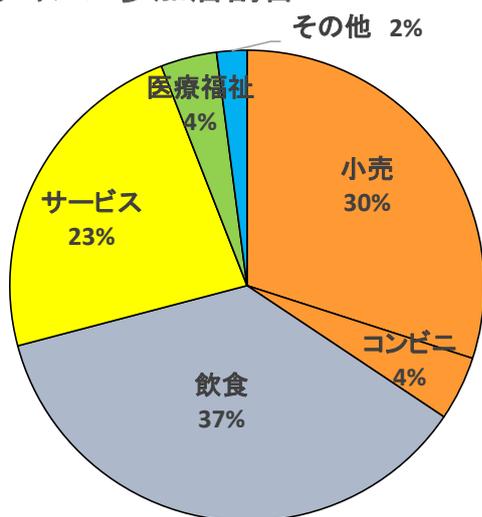
61.8%

業種別当選金利用結果(Wチャンス商品券)

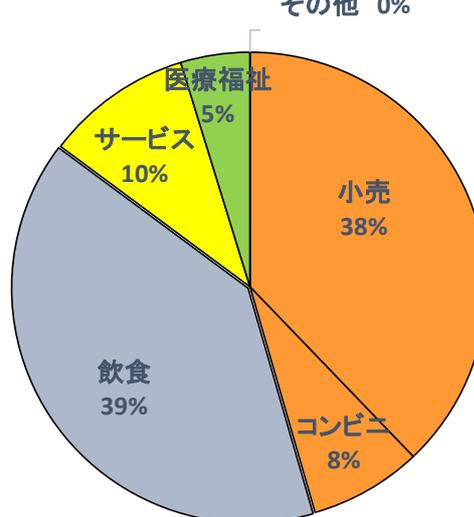
	Wチャンス参加店数	割合	換金店舗数	割合	500円券		割合
					枚数	金額	
総数					4,560	2,280,000	-
回収枚数					2,835	1,417,500	62.2%
一般店	340	100.0%	169	100.0%	2,835	1,417,500	100.0%
小売業	117	34.4%	77	45.6%	1,557	778,500	54.9%
(内コンビニ)	15	4.4%	13	7.7%	413	206,500	14.6%
飲食業	124	36.5%	67	39.6%	938	469,000	33.1%
サービス業	79	23.2%	17	10.1%	201	100,500	7.1%
医療・福祉	13	3.8%	8	4.7%	139	69,500	4.9%
その他 ※	7	2.1%	0	0.0%	0	0	0.0%

※その他： 製造業・建設業・不動産業

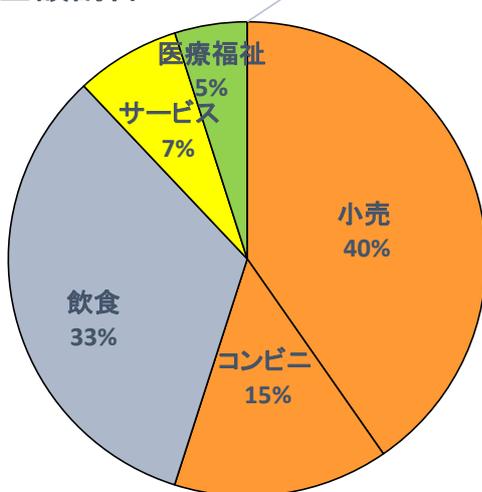
Wチャンス参加店割合



換金店舗数割合



換金額割合



Wチャンス参加店全体に占める小売業の割合は34%だが、換金額の割合は56%と小売業（特にコンビニ）での商品券利用が目立つ。

8. 募集・広報・PRの概要

募集対象	市内全事業所
募集期間	平成29年7月7日（金）～平成29年11月10日（金）（原則）
募集方法	①募集案内チラシの送付（前年度参加事業には前年度内容記載し、商工会員事業所へは参加不参加に係わらず送付）7月7日（金） ②市報ちょうふ（7月20日）
広報・PR	①市関係機関・自治会掲示板等へポスター貼付 ②第62回調布市商工まつりにてPR（ポケットティッシュ配布） ③各商店会等によるイベント時にPR（ポケットティッシュ配布） ④小田急・京王バス車内掲載（小田急－320台、京王－60台） ⑤市報ちょうふ（11月20日） ⑥市内全戸配布のチラシ配布（市報と同時） ⑦ホームページ（調布市・ちょうふどっとこむ・商工会） ⑧参加店での店頭ポスター貼付

9. 会議の概要

日付	会議名	内容
5/9(火)	市と部会正副事前打合せ	事業実施概要・実施計画等の協議
6/1(木)	第1回事業運営委員会	事業概要・実施計画・ほか
6/15(木)	第1回広報部会	スクラッチ広報について他
6/15(木)	第1回広報部会作業班	制作物作成と進捗確認他
6/23(金)	第2回広報部会作業班	制作物作成と進捗確認他
7/20(木)	第3回広報部会作業班	制作物作成と進捗確認他
8/23(水)	第4回広報部会作業班	制作物作成と進捗確認他
9/13(水)	第1回事業部会	チャンス券の取扱・当選品・等級について他
9/14(木)	第5回広報部会作業班	制作物作成と進捗確認他
9/26(火)	第6回広報部会作業班	制作物作成と進捗確認他
9/27(水)	第2回事業運営委員会	広報関係・事業関係進捗状況について他
10/12(木)	第7回広報部会作業班	制作物作成と進捗確認他
1/18(木)	第3回運営委員会	事業進捗状況報告と商品券当選者決定の抽選
3/1(木)	広報打合わせ	次年度の広報物について
3/29(木)	第4回運営委員会	スクラッチ最終事業報告

10. 実施結果

●総括

- ☆ 前回（平成28年度）と比較して参加店舗が4店増加（大型店△1店・一般店+5店）。
- ☆ 大型店（4店舗）と大型店以外の店舗での利用率はおおよそ2対8の割合で、Wチャンス商品券を含めると1対9の割合となり、小規模事業者への高い利用率で利用された。
- ☆ 参加店舗の声として、改善すべき点もいただいているものの、「売上・客数アップにつながった」「お客様が参加店でのお買い物自体を喜び・楽しんでくれた」「お客様とのコミュニケーションが図れた」等の評価をいただいた。
- ☆ チャンス券活用による独自のサービスを実施する参加店が340店と17店増えた。
- ☆ チャンス券10枚での抽選に予想以上の応募があった。1,447口（739名）
- ☆ スクラッチカードによる換金率は、100円券では約62%、Wチャンス商品券は約95%の高換金率となった。

平成23・24年度、27・28年度に引き続き、スクラッチカード方式で実施した「2017絆・ぬくもり がんばろう調布セール」においては、998参加店舗の内、543店舗で合計約576万円の当選券が利用された。

換金率は約62%で前回と比べ微減したが、商品券換金を加えると4%上昇した。また、Wチャンス商品券は、340店の内、半数の169店で活用された。

今回参加の大型店4店舗（パルコ調布店、トリエ京王調布店、啓文堂書店仙川店、啓文堂書店つつじヶ丘店）における利用率は約3割、大型店以外の店舗での利用率は約7割（539店舗）となっており、市内一般店を中心に幅広くお買い物・サービスを利用されたと考えられる。

町別では調布駅・国領駅・仙川駅・つつじヶ丘駅・柴崎駅周辺の商店会を抱える小島町・布田・国領町・仙川町・西つつじヶ丘・東つつじヶ丘・菊野台で多額の利用があった。参加店が多く、大型店を抱えている町が上位を占める。

参加店においては、約79%の参加店で、「参加して良かった・効果があった」との評価を頂いた。昨年同様、当選金額（1,200万円）・当選確率（30%）・当選券枚数（12万枚）ともに低かったものの、チャンス券を集めると参加店独自サービスを受けられることやお子さま連れサービスの継続とWチャンス商品券の発行等もあり、『売上・客数アップにつながった』『お客様が参加店でのお買い物自体を喜び、楽しんでくれた』『お客様とのコミュニケーションが図れた』という声を多数いただいた。

その一方、問題点とし「参加店になったものの、売上・客数アップにつながらなかった」、「当たり券内容に不満」、「参加店への配布方法・枚数に不満」などの意見があった。またチャンス券に付随するサービスが複雑で分かりにくいなどの意見も頂いた。

さらに商品券には利用できる店舗が998店の参加店からチャンス券活用をした340店の約1/3に限られたため、利用する消費者からスクラッチをもらった店舗で使えないとの問い合わせ等も多くあった。反対に抽選で多くの商品券を当選させた結果、換金率も9割を超え、2月の閑散期の消費喚起に一役買うことができた。

しかしながら高利用率にもかかわらず、27%の方は効果がなかったとの回答となった。

スクラッチカードについては、1店舗での配布枚数が300枚と少なかったにも係わらず、参加者負担での追加購入は55店舗に限られた。その為、多くの参加店において開始から数日で配布終了となってしまった。参加するのに基本無料のため、約1,000店の参加はあったものの、参加店の取組みについて各参加店に格差があったように感じられる場面も見受けられた。事業参加数が減少すると思うが、参加を有料化とすることも検討していく必要もあると感じた。

スクラッチの換金は、大型店分を含んでいるとはいえ、商工会での換金が67%と高く、金融機関においては33%に留まった。

依然として厳しい経営環境下にある中小・零細規模の参加店において、積極的に参加することにより、お客様を呼び込む契機となり、チャンス券の有効活用やWチャンス商品券を今年度も活用し、様々な工夫を凝らした

販売促進を展開する中で経営努力する呼び水となった。全市的規模で実施する事業であるため、今後は参加店において、チャンス券活用など、もう少し積極的に消費喚起に結びつけるための工夫等も検討していく必要も感じられた。

消費者にとっても、幅広い年齢層に対し消費拡大に結びついただけでなく、新たなお買い物先の発見、参加店でお買い物自体を楽しまれること等についてもある程度の成果を得た。

今回の反省点を踏まえた上で、参加店にとっても、消費者にとっても更なる有益な消費喚起事業を構築・展開していきたい。

☆ 最終アンケートより（回答総数221件中）

○良かった・効果があった 175件 79%（前回より4%ダウン）

【参加店】

- ①売上・客数アップにつながった。
- ②スクラッチカード自体、お客様が喜んでくれた・楽しんでくれた。
- ③お客様とコミュニケーションがとれた。

○悪かった・効果がなかった 23件 10%（前回より4%ダウン）

- ①売上・客数アップにつながらなかった。
- ②当たり券内容に不満。
- ③配布方法・枚数に不満。
- ④換金方法に不満。
- ⑤周知不足。

対象：参加全事業所（776店） 調布パルコ及びトリエ京王調布内各テナントは含まず

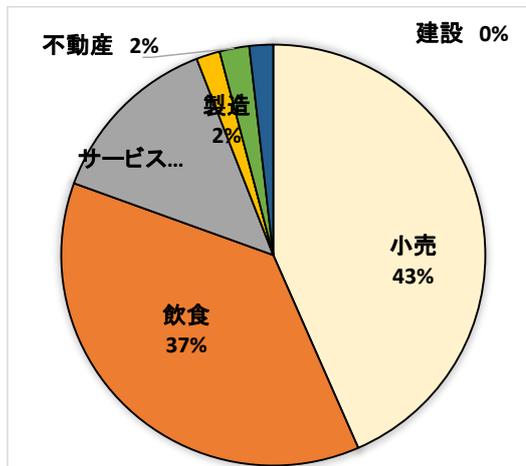
回答総数： 221件 （2016年183件）

有効回収率： 28%

1. 事業所の業種

小売	96
飲食	82
サービス	30
製造	4
建設	0
不動産	5
その他 ※	4
合計	221

※その他：学習塾・医療福祉・薬局など

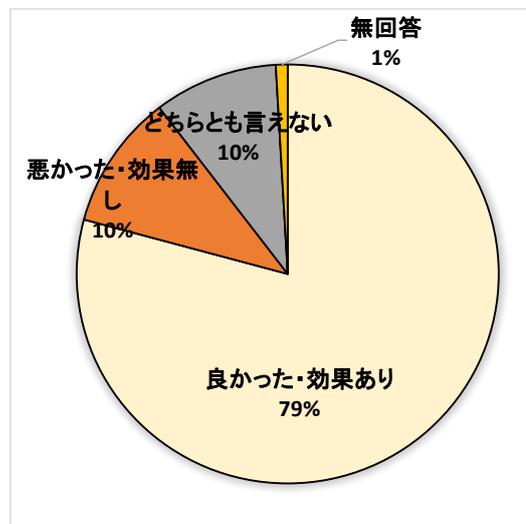


2. 本事業に参加して

良かった・効果あり	175
悪かった・効果無し	23
どちらとも言えない	21
無回答	2
合計	221件

事業の効果の良さを実感した事業所は79%と年々減少傾向にある。

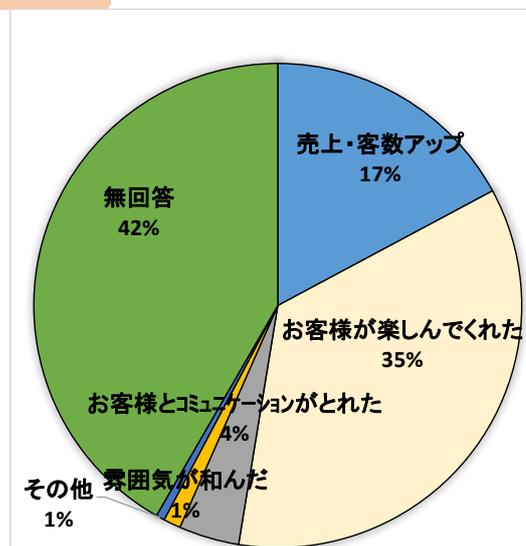
2015年度：95%
2016年度：83%



3-1. 本事業に参加して良かった・効果があった点

売上・客数アップ	30
お客様が楽しんでくれた	62
お客様とコミュニケーションがとれた	7
雰囲気が和んだ	2
その他	1
無回答	73
合計	175

効果の良さを感じた事業所のうち飲食店が45%・小売業が34%・サービス業が14%と続く。



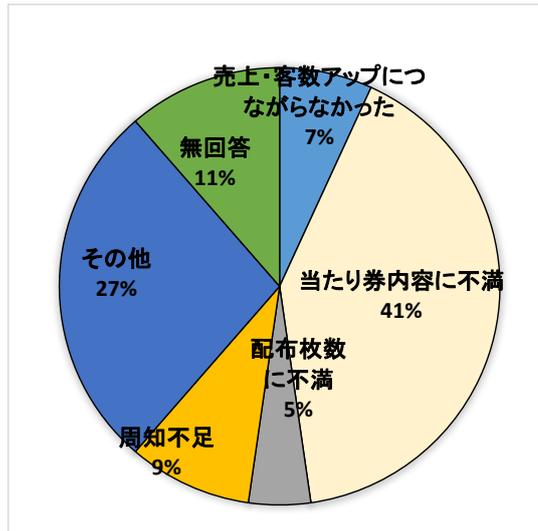
3-2. 本事業に参加して悪かった・効果が無かった点

売上・客数アップにつながらなかった	3
当たり券内容に不満	18
配布枚数に不満	2
周知不足	4
その他	12
無回答	5
合計 ※	44

※どちらともいえないと答えた事業所の意見を含む

本事業に参加して『悪かった・効果が無かった』と感じた事業所では当たり券内容、特に金額の低さや当選確率の低さに対する不満をあげている。

『効果が無かった』と感じた事業所のうち小売業が48%を占め飲食業が30%と続く。

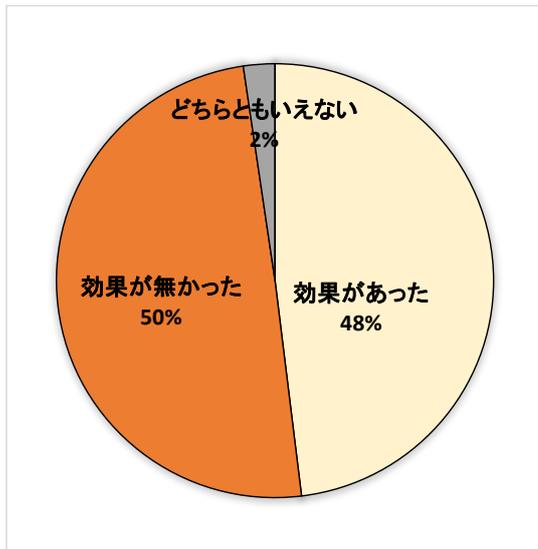


4. チャンス(ハズレ)券を活用した取組を実施した事業所の方の消費喚起効果について

効果があった	62
効果が無かった	64
どちらともいえない	3
無回答	0
合計	129件

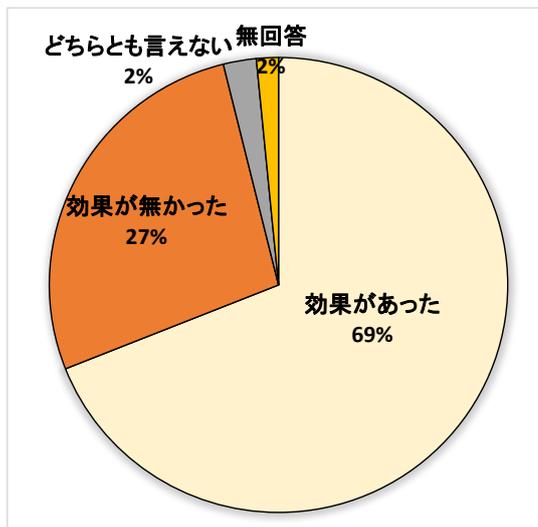
消費喚起について『効果が無かった』と感じた事業所の割合は50%だったが、そのうち76%の店舗がスクラッチ事業自体には『参加してよかった・効果があった』と回答している。

Wチャンスが複雑すぎて、説明するのが大変なのでWチャンス自体不要との意見も多数みられた。



5. Wチャンス「商品券」について(対象店のみ)

効果があった	89
効果が無かった	35
どちらとも言えない	3
無回答	2
合計	129件



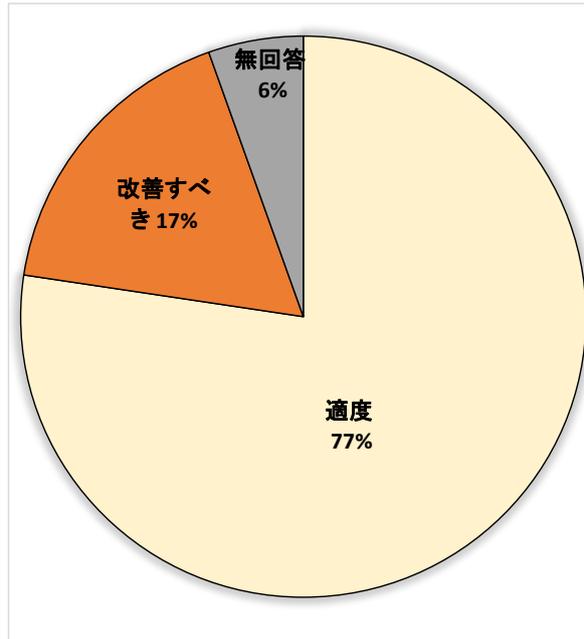
6-1. スクラッチカードの配布枚数について

適度	171
改善すべき	38
無回答	12
合計	221件

配布枚数に関しては77%が『適度である』と回答。

『改善すべき』と回答があったうち配布枚数が少ないとの答えた事業所が7割で、500枚位が妥当との意見が多かった。

また、業種や客単価を考慮して配布をしてもよいのではとの意見もあった。

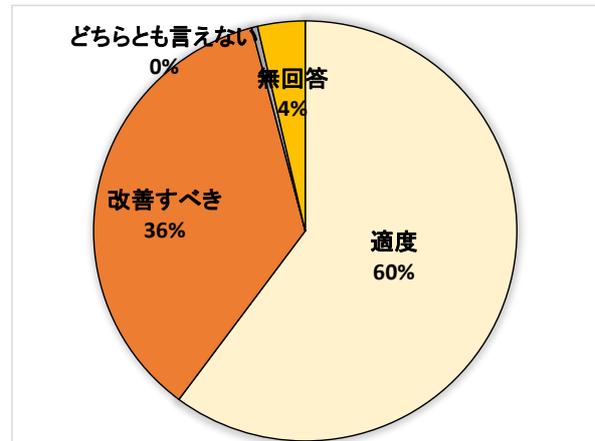


6-2. スクラッチカードの設定金額について

適度	133
改善すべき	79
どちらとも言えない	1
無回答	8
合計	221件

当選金額の設定は『適度である』との回答が60%。『改善すべき』意見の内容としては当選金額を上げて欲しい。当選金額を下げて当選確率を上げる。当選金額の種類を増やして欲しいなどが多数あげられた。

中には100円だけだったので、管理がしやすく良かったとの意見もあった。



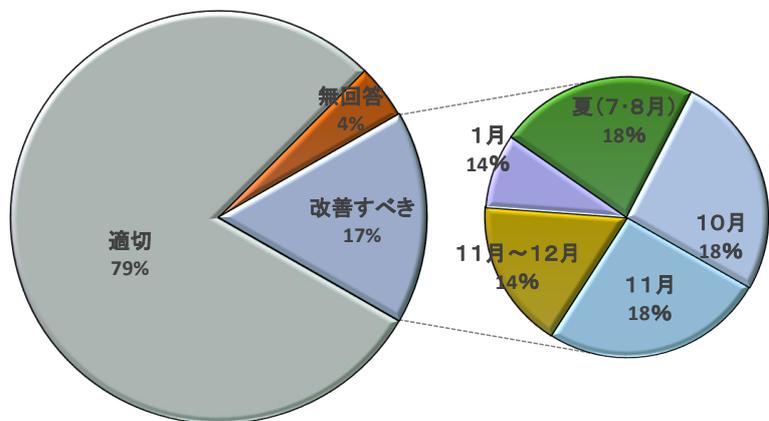
6-3. スクラッチカードの実施時期について

適切	167
改善すべき	45
①10月	9
②11月	6
③11月～12月	3
④1月	8
⑤夏(7月・8月)・その他	9
無回答	9
合計	221件

実施時期については79%が『適切』と回答。

『改善すべき』の17%では、多忙期の12月を選けた10・11月が最も多かった。

又、「11月～12月など期間を延長して欲しい」・「子供が休みのゴールデンウィークや夏休みに実施して欲しい」との意見もあった。



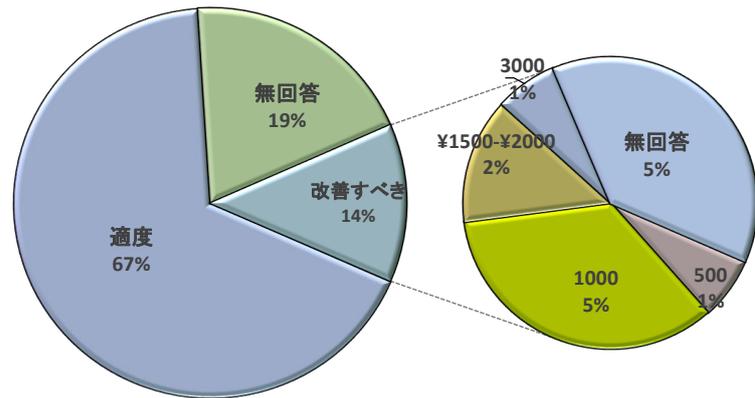
6-4. 参加者の追加負担について

適度	149
改善すべき	29
①500円	2
②1,000円	10
③1500-2000円	4
④3,000円	2
無回答	43
合計	221

スクラッチカードの参加者負担(100枚追加毎に2500円)に関しては67%が『適度』であると回答。

『改善すべき』では1000円程度が妥当という意見が最も多かった。

中には、基本料金を2000円(或いは5000円)、追加料金を100枚毎に2000円と参加者の負担を大幅に増額し、当選金額をあげてはどうかとの意見もあった。



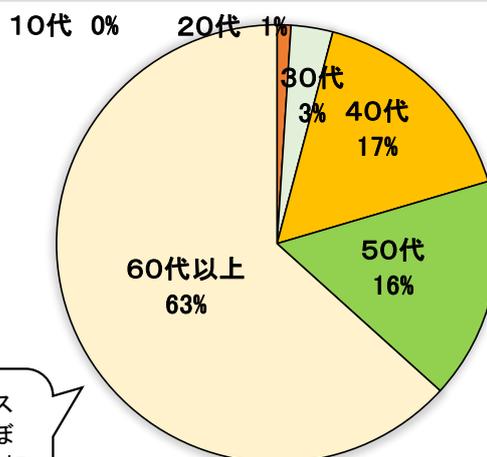
対象：Wチャンス商品券当選者(1等～4等 600名)

回答総数：98件

有効回収率：16%

1. 年齢

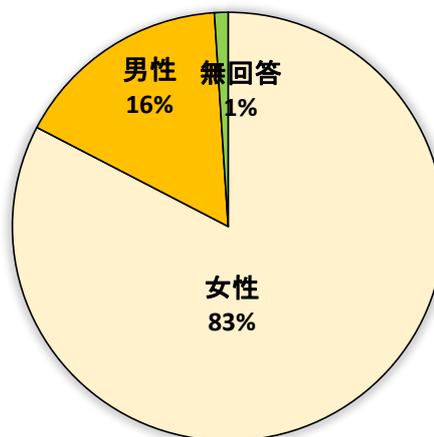
10代	0
20代	1
30代	3
40代	16
50代	16
60代以上	62
合計	98



アンケートにご協力頂いた方の年代統計より、スクラッチ参加者に占める60代以上の割合もほぼ同等(約6割)と推測される。子育て世代での参加が少ない。

2. 性別

女性	81
男性	16
無回答	1
合計	98

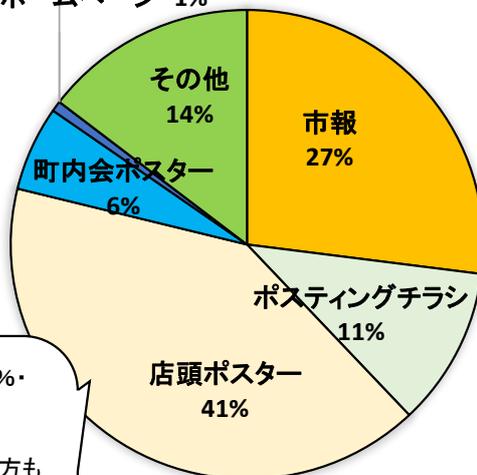


3. 本事業をしったきっかけ (複数回答可)

市報	37
ポスティングチラシ	15
店頭ポスター	56
町内会ポスター	8
ホームページ	1
路線バスポスター	0
その他	20
合計	137件

路線バスポスター 0%

ホームページ 1%



本事業をしったきっかけについては、店頭ポスターが41%・市報が27%・ポスティングチラシが11%と続く。

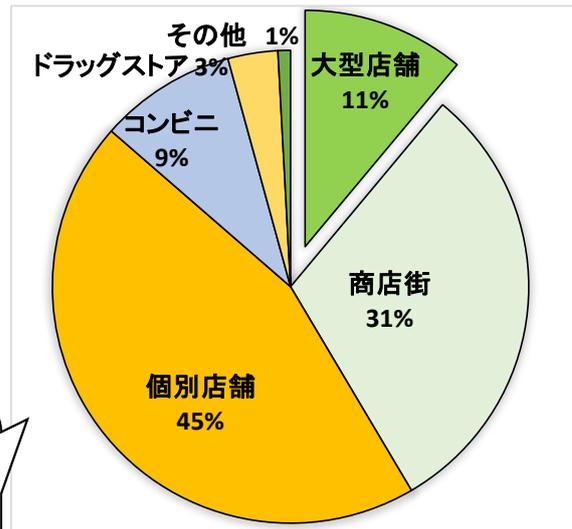
店内でスクラッチを配布されて初めて知った方や、知人から伝え聞いた方も多数いた。(周知不足・PRの必要性ありとの意見も寄せられている。)

アンケートにご協力頂いた方の大半が60代以上の女性という事もあり、ホームページや路線バスポスターがきっかけという意見はほとんどなかった。

4. 当たり券(100円)の利用店舗 (複数回答可)

大型店舗	13
商店街	36
個別店舗	53
コンビニ	11
ドラッグストア	4
その他	1
合計	118件

※その他: ゲームセンター等



当たり券(100円)の利用店舗のうち11%が大型店、一般店では89%を占める。

但し、上記の数字は実際の換金総額の比率とは異なる。2017年大型店の換金総額は全体の25%を占める。(2016年は22%)

5.6. チャンス券(ハズレ券)サービスの利用

利用した	63
① 普段よく行く店舗で利用	49
② 初めて行く店舗で利用	10
③ その他 ※	4
利用しない	34
無回答	1
合計	98

※時々利用する店舗での使用

チャンス券サービスを利用した人は6割。そのうち8割が普段よく行く店舗で利用しているとの結果がでた。但し、チャンス券サービスとWチャンス商品券を混乱している人が多かった為、実際にチャンス券サービスを利用した割合は少ないと考えられる。

チャンス券に関しては、チラシが複雑・利用方法がわかりづらかったとの意見もある。店舗側からも同様の意見が寄せられているため今後の課題となりそうだ。

